

別紙1.CMS機能要件一覧表

| 1. CMS(基本情報) | | |
|--------------|---|----|
| 項目 | 内容 | 備考 |
| 基本情報 | CMSの導入を前提としたホームページの構築または改修の実績を有する製品であること。 | |
| | CMS利用にあたって、各PC端末に、特別なアプリケーションなどをインストールする必要が無いこと(ウェブブラウザから利用できること)。 | |
| | 各職員のPC端末からEdge、FireFox、Google Chrome、Safariの最新版を通じ、ID・パスワード認証でCMSにログインできること。またSAML認証に対応し、SPとしてふるまうことが可能なこと。 | |
| | 閲覧者の利用する端末の機種、OS、ブラウザ、通信回線などの利用環境に依存することなく、ホームページを閲覧できること。 | |
| | ユーザー数、ページ数の増減により価格が変動しない製品であること。また、できる限りオープンソースソフトウェアであることが望ましい。 | |
| | サイト全体を統一したデザインで管理できること。 | |
| エラー、ログ対応 | システムエラーが発生した場合、メールなどによりシステム管理者に通知すること。 | |
| | アプリケーションログは、クライアント及びサーバー双方に記録すること。また、記録の可否をサーバー側の設定で切り替えが出来ること。 | |
| | エラー発生時は、エラー内容をクライアント側に表示するとともに、ログ取得および管理者へ詳細内容をメール送信すること。また、エラーによる影響を他の利用者に及ぼさないようにすること。 | |
| | データベースなどの現在の使用量を管理画面から確認できること。 | |

| 2. CMS(ページ作成機能) | | |
|---|--|----|
| 項目 | 内容 | 備考 |
| 基本的な仕様 | 生成されるHTMLのバージョンは、HTML5であること。 | |
| | UTF-8の文字コードに対応すること。 | |
| | 静的HTMLファイルを出力できること。 | |
| | 静的HTMLファイルの中で更新頻度の高い部分だけを、管理者が自由に動的に設定できること。 | |
| アクセシビリティ | すべてのページで200%程度までの文字拡大機能を利用できること。 | |
| | 共通メニューの読み飛ばしができるようHTMLファイルが自動的に生成されること。 | |
| | 背景色、文字色を切り替える機能を有すること。 | |
| | 任意に閲覧中のページに振り仮名を表示させることができること。 | |
| | 任意に閲覧中のページを読み上げる機能を有すること。 | |
| | ページに添付ファイルを掲載する場合はファイル容量、ファイルの種類が自動で表示されること。 | |
| | 複数の音声読み上げサービスに対応できるよう、作成されたページのソースはアクセシビリティに配慮したものであること。 | |
| | リンク先が外部サイトの場合は外部サイトであることを明記すること。 | |
| | CMSで利用するテンプレートは、JIS X8341-3:2016に準拠すること。 | |
| | 画像の代替テキストが入力されていない場合は、警告を表示すること。 機種依存文字を用いられている場合、適切な表記への自動変換、または警告を表示する機能を有すること。 | |
| 編集中のページについてJIS X8341-3:2016に示されたアクセシビリティをチェックし、問題がある場合には注意喚起を行い、簡単なものは半自動で修正されること。 | | |
| ページの作成・公開 | 入力画面は、ワープロソフトのようなWYSIWYGインターフェースを実装していること。 | |
| | 実際に公開される画面に近いプレビュー表示をもち、その画面で編集ができること。 | |
| | ページのタイトルとは別に新着情報やお知らせなど、一覧ページに表示する一覧用タイトルの設定ができること。 | |
| | ページタイトルの文字数を制限できること。また、無制限にすることも可能なこと。 | |
| | ファイルの保存時には、連番ではない任意のファイル名を指定できること。 | |
| | HTMLソースの編集ができること。 | |
| | 検索用キーワードを設定できること。 | |
| | ページごとにdescriptionの指定を行えること。 | |
| | Metaタグを入力しなくても規定の内容を自動挿入できること。 | |
| | 見出し(h2～h6)の設定が容易にできること。 | |
| | 箇条書きリストの設定が容易にできること。 | |
| | テーブルには、見出し、行見出し、列見出しを容易に設定できること。 | |
| | Microsoft Word、Excelで作成した内容の貼り付けが出来ること。 | |
| | 任意のHTML属性や文字列の削除、置換が出来ること。 | |
| | テンプレートを自由に編集、追加作成できること。 | |
| | テンプレートの変更は容易にできること。 | |
| | 新着情報など、一覧ページに表示するサムネイル画像を登録できること。 | |
| | ページ作成時にイベントカレンダーへの表示を設定できること。 | |
| | ページ作成時にアクセシビリティチェックが自動で実行されること。 | |
| | ページ作成時に表示したいカテゴリにチェックをすることで、そのカテゴリにページを表示できること。 | |
| 管理者が用意する辞書を用いて、使用が好まれない単語を好ましい表記に置換できること(例:「子供」→「子ども」)。単語は、管理者が任意で登録でき、その登録単語数に制限は無いこと。 | | |
| ページ作成時に必須入力箇所が未入力であった場合は警告が表示されること。 | | |
| 自由入力形式の他、あらかじめ入力項目を設定した定型入力フォームを利用できること。 | | |
| アカウントに設定された編集権限のないページは編集できないよう制限できること。 | | |
| 作成途中のページを一時的に保存し、再ログイン後に編集を再開できること。 | | |
| コンテンツ作成者が、公開開始日・公開終了日を入力することで、指定した日時にコンテンツの自動更新ができること。 | | |
| 公開期間を分単位で設定することができる。また、公開終了を無期限とすることができること。 | | |
| 公開中のページを非公開にする場合は、非公開にすることでリンク切れとなるページを警告として表示すること。 | | |

| | | |
|--|---|--|
| ページの作成・公開 | 公開中のページを非公開にすることなく、ページを修正し、修正後のページに差し替えられること。 | |
| | ページ内に公開日(最初に公開した日)を表示できること。 | |
| | 同一ページを同時に複数人で編集している場合に警告を表示し、編集できないこと(排他制御)。 | |
| | ログインユーザーの所属課に応じてページ下部に問い合わせ先を自動的に表示できること。 | |
| | ページの内容をそのまま別ページとして複製できること。 | |
| | 自動的にOGPタグが設定され、SNSに適切に表示されること。 | |
| | ページ公開と連動して、あらかじめ指定されたTwitter、Facebookなどへ自動投稿ができること。 | |
| | 削除したページは一旦ゴミ箱に保存され、復元できること。 | |
| | ゴミ箱の保持期間を自由に設定できること。 | |
| 公開して一定の日数が経過したページについて、管理者が把握できる仕組みがあること。 | | |
| プレビュー | ページ公開前に公開イメージをプレビューとして確認できること。 | |
| | コンテンツ作成時に、当該コンテンツからのリンクをたどる形で内部リンク先のコンテンツも含めてプレビューできること。 | |
| | 特定の日時でのサイトの状態をプレビューで確認できること。(未来プレビュー) | |
| | プレビューからページやテンプレートの編集画面に簡単な操作で遷移できること。 | |
| 階層 | フォルダの階層に制限がないこと。 | |
| | ある階層下のフォルダを別階層下に移動できること。 | |
| | 権限によって、ユーザーごとに管理できるフォルダを設定できること。 | |
| カテゴリ設定 | ページ作成時に容易にカテゴリの設定を行えること。 | |
| | 作成済のページを、別のカテゴリに容易に変更できること。 | |
| | カテゴリを自由に作成・編集できること。 | |
| | カテゴリに、一覧ページ等で表示する説明文を設定できること。 | |
| 画像・添付ファイル | 簡易な操作でページ内に画像を配置できること。 | |
| | 画像をアップロードする際に、自動でサムネイル画像の生成ができること。 | |
| | 登録可能な画像はbmp、JPEG、GIF、PNGを必須とすること。 | |
| | 画像に説明やリンクをつけられること。 | |
| | ページにPDF等の各種文書ファイルをリンクできること。 | |
| | 添付ファイルの表示名は容易に設定が可能なこと。 | |
| | リンクした文書ファイルの種類(PDF、Microsoft Word等)、サイズの表記が自動で挿入されること。 | |
| | ファイルの種類によってアップロード容量の制限ができること。 | |
| | 画像は上限サイズを指定でき、上限を超えた画像は自動的にリサイズされること。 | |
| | PDFを添付した場合、ページ配下にAdobe Readerへのリンクが自動的に設置されること。 | |
| | 画像ファイルのリサイズが可能なこと。 | |
| 画像ファイルはトリミング、回転などの編集が可能なこと。 | | |
| 添付ファイルを貼り付ける際は表示ファイル名を任意に指定できること。 | | |
| リンク | リンク先を表示する際、別ウィンドウで開く設定が可能であること。 | |
| | 各ページに関連のあるページを、「関連情報」として所定の位置にリンク付きで表示できること。 | |
| | サイト外にあるページへのリンクを設定した場合には、リンク文字列の後ろに「外部リンク」などの文言を自動挿入できること。 | |
| | ページごとにリンク切れのチェックを行えること。 | |
| | ページを非公開、削除する際に、他のページから該当ページへのリンクがあった場合、注意喚起されること。 | |
| 動画 | CMSで作成するページ内に、YouTubeに掲載した動画の埋め込みができること(タグ等による映像の埋め込みに対応できること)。 | |
| 地図 | Google Mapなどの外部ASPを選択して地図情報の提供ができること。 | |
| サイトマップ | サイトマップは自動生成されること。 | |
| 携帯・スマートフォン対応 | 携帯、スマートフォン用のページのプレビューができること。 | |
| | PC用ページの作成時に携帯用ページを自動で作成すること。 | |
| | 携帯用ページでは、画像が縮小表示されること。 | |
| | レスポンシブウェブデザインによるスマートフォン対応を行うこと。 | |

| 3. CMS(自動更新、自動生成機能) | | |
|---------------------|---|----|
| 項目 | 内容 | 備考 |
| ページ一覧 | 更新した情報を、公開日順により「新着情報」としてトップページに表示できること。 | |
| | 公開日順以外に更新日順、指定順、タイトル順等での表示設定も可能なこと。 | |
| | トップページの「新着情報」の掲載件数を超える新着情報は、一覧ページとして別途表示可能であること。 | |
| | ページ作成時に入力した一覧用タイトルを優先して表示できること | |
| | 新しい情報は一定期間「New」アイコンなどを表示できること。 | |
| | ページのサムネイル画像を表示できること。 | |
| | 「新着情報」に表示されるリンクの件数、表示順を、任意に変更できること。 | |
| | 他サイトのRSSを取得し、新着一覧に取り込めること。 | |
| | 特定の送信元からのメールをコマンドから取り込み、ページとして公開できること。(J-ALERT連携) | |
| | ページ一覧をブログのようにタイトル、本文、ページの概要、カテゴリなどが展開された状態で表示可能なこと。 | |
| 課や係別のページ一覧を作成出来ること。 | | |
| パンくずリスト | 各ページの同じ位置にパンくずリストを自動生成できること。 | |
| | その際、ページタイトルを自動的に引用できること。 | |
| | ページタイトルにサイト名を併記して表示できること。(例:ページタイトル/松原市) | |
| ナビゲーション | カテゴリ一覧やページ一覧などのナビゲーションを自動生成できること。 | |
| | 対象ページが公開された際、ナビゲーションも自動で更新されること。 | |
| RSS出力 | サイト全体、あるいはカテゴリごとの新着情報をRSSフォーマットで出力できること。 | |
| | 作成されたページを内部リンクとして埋め込み表示できるイベントカレンダーを作成できること。 | |

| | | |
|-----------|--|--|
| イベントカレンダー | イベント情報をイベント日、カテゴリーなどで検索できること。 | |
| | ページ作成時に、イベントカレンダーへの掲載有無、掲載日、掲載名を設定できること。 | |
| | ページ作成時に、申し込み締切日を設定できること。 | |
| | イベントが開催される施設を登録でき、施設で絞り込めること。 | |
| レコメンド機能 | 「このページを見た人はこんなページも見えています」といった関連性の高いページを自動的に抽出し、ページの任意のエリアへ表示できること。 | |

| 4. CMS(付加機能) | | |
|--------------|--|----|
| 項目 | 内容 | 備考 |
| アンケート機能 | テキストエリア、ラジオボタン、チェックボタン、リストボックスなどを自由に配置したアンケートページを作成できること。 | |
| | 記事制作者単位でフォームを作成し、入力項目や必須項目、入力形式の指定ができること。 | |
| | 同時に複数のアンケートが設定できること。同時に開設できるアンケートページ数に上限がないこと。 | |
| | 各アンケートページ内の設問については、その設問数に上限がないこと。 | |
| | 利用者が送信前に内容を確認可能なこと。また、投稿者への通知メールが自動送信可能なこと。 | |
| | 管理者への通知メールが自動送信可能なこと。 | |
| | 自動返信の文章は任意に設定が可能なこと。 | |
| | 日時指定によるアンケートの公開、削除が可能なこと。 | |
| | 管理画面内でアンケートの集計結果を確認できること。 | |
| | フォームからの入力をREST APIにより指定のキートンアプリにデータ連携できること。 | |
| FAQ機能 | よくある質問(FAQ)ページが作れること。 | |
| | カテゴリー機能を有すること。 | |
| | 関連ページへのリンクや問い合わせ先を容易に設定できること。 | |
| 広告管理機能機能 | 期間を指定し、広告バナーの掲載管理が可能なこと。 | |
| | 広告バナーのアクセス集計が可能なこと。 | |
| アクセス解析機能 | Googleアナリティクスなどの導入によりトップページ、各ページ単位、バナー単位でクリック数を集計し、解析結果は、CSVファイルなどで保存・出力できること。 | |
| | 閲覧者の使用するブラウザ・OS・モニタサイズが集計できること。 | |
| | 閲覧者の接続ポイント(都道府県)が集計できること。 | |
| サイト内検索 | ページにたどり着くにあたって、ブラウザで検索したキーワードがわかること。 | |
| | キーワードでサイト内のページが検索できるよう、検索の入力フォームを全ページに配置すること。 | |
| | ページのみ、PDFのみに絞った検索や、分類を選択した検索ができること。 | |
| 多言語対応 | 検索結果のページは、サイト内の他のページと同様、同じ体裁のヘッダー、フッターを表示させ、閲覧者には、別のサイトに移動してしまったという印象を与えないようにすること。 | |
| | 外部の自動翻訳ツールと連携し、ページ内容を画面レイアウトそのまま選択した言語に翻訳できること。 | |
| | 外部の自動翻訳ツールとの連携は、Googleなど、複数のサービスと連携できること。 | |

| 5. CMS(サイト管理機能) | | |
|-----------------|--|----|
| 項目 | 内容 | 備考 |
| マルチテナント対応 | マルチテナントに対応し、20以上の異なるドメインサイトを一つのCMS内で独立して管理できること。 | |
| 権限権利 | ひとつのページに対して、複数のユーザーが編集権限を持てること。また、権限のないページは編集ができないよう、制限を設けられること。 | |
| | 部署、ユーザーごとに操作権限の及ぶ範囲を設定することができること。また、同一部署内でも、ユーザーごとに操作権限の及ぶ範囲を変更できること(例:課長のみ編集可)。 | |
| | ログインするユーザーIDにより、権限に応じた画面が表示されること。 | |
| 操作履歴 | 管理者がすべてのコンテンツについて即座に編集・公開・削除できること。 | |
| ユーザー管理 | ページの公開、削除といった履歴をログとして残せること。 | |
| | 管理者は、CMSの管理画面上でユーザー情報の修正、追加、削除が行えること。 | |
| | ID、パスワードを上限なく付与し、管理者が容易に管理できること。 | |
| 組織管理 | ユーザー情報を、CSVファイルを介してインポート、エクスポートできること。 | |
| | 管理者は、CMSの管理画面上で組織情報の修正、追加、削除が行えること。 | |
| | 年度末などの組織変更に対応し、一括で組織変更を行えること。 | |
| | CSVによる組織変更情報のインポートが可能なこと。 | |
| 災害管理 | 組織変更の際、ユーザーの異動を同時に行えること。 | |
| | 組織変更は、日時指定による予約実行が可能なこと。 | |
| | 災害発生時など、トップページの目立つ位置に緊急情報を表示できること。 | |
| | 大規模災害時には、管理者による簡易な操作でトップページ全体のデザインをテキスト中心のデザインに切り替えられること。 | |

| 6. CMS(承認ワークフロー) | | |
|---------------------------------------|---|----|
| 項目 | 内容 | 備考 |
| 基本仕様 | 組織カテゴリやグループごとに、コンテンツの承認機能を有すること。 | |
| | 承認依頼をキャンセルし、ページ内容を再編集できること。 | |
| | 承認依頼時に、承認者に対してメールによる承認依頼が送信されること。 | |
| | 承認依頼時のメールにコメントを付記できること。 | |
| | 承認者は、承認依頼を受けたページを否認する際、作成者向けにコメントを追記できること。 | |
| | 差し戻しの際、承認依頼者にメールで知らせること。 | |
| | 完了していない承認申請がある場合、一定期間で督促通知が送られること。 | |
| | 2段階以上の承認ルートの設定が可能なこと。 | |
| | 必要と思われる承認ルートを事前に作成し、それを利用できること。 | |
| | 権限を与えられた承認者、並びに公開責任者は、承認依頼を受けたページを上書き編集できること。 | |
| 経路変更を許可されたユーザーのみ、申請後に申請経路の変更が可能であること。 | | |